

楽々亭通信

発行：NPO法人没イチの会・京都



4月の楽々亭を 開催いたしました

本願寺派布教使
安堂芳雅



「同体の慈悲」

こんにちは、安堂です。
今日は仏教の説く「慈悲」
について書きます。

■慈悲の「慈」は、マイト
リー（友情）という意味で、
いつでも、どこでも、誰に
でも、阿弥陀さまのおすく
いのはたらきは届けられ
ています。

私自身に味わえば、今、
ここ、私に届けられている
のが、阿弥陀さまの慈悲の
はたらきです。

■次の「悲」は、カルナー
（うめ）という意味になり
ます。どうして慈悲という

優しい言葉の意味がへんき
なのか。

それは、私が苦しみにの
たうちまわって、呻いてい
るときに、私と一体になっ
て呻いて下さっている。

私と一体の「同体の慈
悲」という阿弥陀さまのは
たらきをあらわしていま
す。

■ひと月前の事です。突
然、火箸を入れられたよう
な痛みが右耳を襲い、病院
に行きました。

「よくある外耳炎です
ね。点耳薬と痛み止めを出
しておくので、十日ほどで
治ります。」

ええー！、こんなに
痛いのに、ほんとにそうで
すか？？？、と言いたい
のをぐっとこらえ帰りに
した。

が、ベッドに入ると鎮
痛剤を飲んだにもかかわ
らず、ズッキンズッキン
痛さで眠るどころではあ
りません。

この痛みをわかってく
れそうな友人に電話を
し、言葉を尽くして今の
症状を訴えました。

「痛いやろう、辛いや
ろう。」と思った通りの反
応です。

「私もあの時は辛かつ
たわ。」・・・今、
その友人は痛くないので
す。

どれほど同情してもら
っても、慰めにはなりま
せんでした。

私は今、眠れないほど
痛いのです、今、どうしよ
うもなくつらいのです。

■また、「なぜ私ばかりが
こんな悲しい思いをせに
やなんのでしょう」
数年前に奥さんを亡く
されたお方が一緒に暮ら

す一人娘さんを亡くされ、
泣かれました。
娘さんには、まだ学校い
きの二人の子供さんがあ
るそうです。

頼りにしていた娘に先
立たれたその方の悲しみ、
お連れ合いに死なれたご
主人の悲しみ、母を失った
お子達、それぞれの悲し
み。どれもみな、悲しいと

いう点では同じですが、何
がどう悲しいかと言えば、
ひとりひとり違います。
決して人にはわかって
もらえない、またそれは自
分では、どうしてみようも
ないのです。

阿弥陀さまはその悲し
みの中にとびこんでくだ
さいました。

私の苦しみ、悲しみを、
今、共にしてくださいとい
るのが、阿弥陀さまのおは
たらき「同体の慈悲」なの
です。

■東海の内田先生のご法

話が、お寺さまのHPに載
っていました。

私も以前聞かせていた
だいたお話なので、少し言
葉を補ってご紹介いたし
ます。

大怪我をしました。耐え
がたい激痛の入院生活。

医師の説明を聞いて、こ
れからの生活が不安で不
安でたまらなくなりました。
痛みで一晩中のたうち
まわりました。

そんな入院生活の中、
「人生における苦しみは、
すべて如来のはげましで
ある」という法語が目にと
まった先生は、「人生にお
ける苦しみ」「ああ今まさ
に私の今のことだな。」と
感得されたそうです。

そして、ふと学生時代に
聞いた仏教の話を思い出
されます。

「阿弥陀さまはお慈悲
の仏さま」

慈悲とは、マイトリ、真の友情、真に寄り添うということ。カルナとは呻くという意味。

阿弥陀さまは、この痛みや不安に苦しむ私に今、寄り添って下さっていて、私のこの痛みや不安に対して、同じ様に呻いておって下さっているんだ。

あの一晩中、呻き苦しみのうちまわった夜、阿弥陀さまも一緒にのたうちまわって下さっておったのだなあ…と思った瞬間、お念仏と共に涙が込み上げてこられます。それは嬉しい涙だったそうです。

「辛いなあ、痛いなあ、苦しいなあ」と呻く私に寄り添いながら、「つらいよね、苦しいよね、でもこの阿弥陀はあなたのそばを決して離れません。あなたがさとのの仏になるまで、私はあなたのいのちを共に生きていきますよう。」

先生は、お念仏をしながら、阿弥陀さまのそんなお声を聞かれます。
そして、その時はじめて、「私

も頑張ってみようかな」という気が持てたのだそうです。

そしてまた、この阿弥陀さまのお慈悲は私だけではない、すべての人にはたらいて下さっているのだと思った時、そのことをお話しさせていただきたい！と思いましたが話してくださいました。

「涙には涙に宿る仏あり。そのみ仏を阿弥陀という。」



楽々亭 5月の予定

5月25日(土)

西京区役所洛西支所第三会議室

午後1時30分～3時30分



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。